

6月定例会

議会構成後の初議会

定例議会の概要

6月定例議会は、3日から14日までの12日間の会期で開催されました。

今定例会では、総額1億4300万円を減額とする平成17年度一般会計補正予算をはじめ、国民健康保険料率の改定による条例の改正など、上程された8議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

人事案件については、固定資産評価審査委員に、先達の水野俊彦さんが、また富士見財産区管理委員には、新たに6名の方の同意がされました。

農業委員の議会推薦議員として、小林光君が推薦されました。

消防防災施設の充実へ

4ヶ所へ防災倉庫設置



設置が予定される防災倉庫

町では、国の消防防災整備事業の補助金940万円の交付を受け、防災倉庫の設置・消防ポンプ車等の更新を図り、消防防災面を強化充実することになりました。

防災倉庫は町内4ヶ所(入笠山・花場・本郷小・境小)へ新たに設置されるもので、災害時における孤立の可能性、広域避難場所等を考慮し選定

されたものです。防災倉庫はアルミ製で、床面積8.3・あり発電機・投光機を備えつけますが、年々必要とされる物品を充実してゆく計画です。

秋頃を目途に準備を進めています。地震防災対策の面から、今後も充実した施設の設置が望まれています。

地域イントラネット

整備事業 採択されず

関係予算1億6800万円を減額

ました。

今後は、有線放送施設の老朽化に伴うその対応と併せ、地域情報化の推進を検討していくこととしています。

地域情報化にむけ新たな計画を推進

公共情報ネットワーク

クの構築と住民への情報提供を目的とする情報基盤整備(地域イントラネット)事業は、16・17年度採択に向けて申請をしてきましたが、国の三位一体改革、予算規模